

# 宮路拓馬 国会通信

## ■ 中山間地農業を元気にする委員会 事務局次長に就任

この度、自民党農林・食料戦略調査会の下に置かれる公式の委員会として「中山間地農業を元気にする委員会」が設置され、同委員会の事務局次長を拝命することとなり、10月28日にその事前打合せが行われました。

農業は「産業政策」と「地域政策」の両輪で進めていかなければなりません。現在は TPP の締結を念頭に「攻めの農業」や「農業の成長産業化」が叫ばれておりますが、同時に、条件不利な中山間地において農業が果たしている治水や環境保全、コミュニティーの維持、伝統文化の継承といった多様な機能をいかに維持していくか、というのも重要な視点です。「攻めるべきは攻め、守るべきは守る」という想いで、明日の農業を切り拓いてまいります！



(10月28日 自民党本部)

## ■ 検察官適格審査会 委員予備員に指名

10月18日、衆議院本会議において大島理森衆議院議長より、検察官適格審査会委員予備員に指名されました。

検察審査会は、検察官が心身の故障、

職務上の非能率その他の理由で職務を執るに適しないかどうかを審査し、その議決を法務大臣に通知することを職務としています。

検察審査会とともに検察をチェックする重要な仕組みの一つであり、その職責を十分に意識してまいります。



(10月18日 衆議院本会議)

## ■ ウナギ養殖業の振興のために 自民党養鰻振興議員の会

10月12日、自民党養鰻振興議員の会の会議が開かれ、①ワシントン条約締約国会議において、ウナギ類の資源や貿易の状況等を議論する場を設ける旨の報告、②ウナギをめぐる状況と対策、③ウナギ種苗量産研究の取組みについて説明を受けました。

鹿児島県のウナギ養殖生産量は、平成27年の統計によると8,007トンでダントツの日本一です(全国の養鰻生産量の合計は1万9,913トン)。

漁業資源の保護を図りつつ、これから先も日本の大切な食文化でもあるウナギ料理(私の大好物でもあります!)を国民の皆様に食べ続けていただけるよう、ウナギ養殖業の振興に取り組んでまいります!



(ウナギの一生 農水技術会議事務局作成)

## ■ 酪農現場の視察 自民党畜産・酪農対策小委員会

10月6日、自民党畜産・酪農対策小委員会の役員メンバーで、生乳の流通の現状を把握するため、生産現場の視察や、生乳を取り扱う民間の流通組織（MMJ）及び指定団体との意見交換を行ってきました。

現在の厳しい経営環境の下、酪農家の戸数が減少していく中で、国民の皆様の生活に欠かせない（私の娘も大好きです！）安心・安全で高品質な生乳生産を維持していくことが求められます。

そのために今後どのような生乳の流通構造とすべきかについて、さらに意見交換やヒアリングを重ね、自民党としての提言をまとめてまいります。



(10月6日 群馬県マンチックデーリィファーム)

## ■ 公選法改正 実習船に乗る水産高生に投票の機会を

9月30日の自民党選挙制度調査会において、7月の参議院選挙の際に問題となった、水産高校の生徒などが実習航海中に洋上で投票できるようにするための公職選挙法の一部改正法案が了承されました。

鹿児島県では、枕崎の鹿児島水産高校の実習船に乗る18歳以上の生徒さんが対象となります。

今後、与党協議や与野党協議を経て、議員立法として国会に提出されることとなりますが、次世代を担う若者の投票環境を整備するため、一日も早い成立を目指して頑張ってまいります！



(実習船「薩摩青雲丸」)

## ■ 第192回臨時国会開会 同期当選議員とともに心新たに

9月26日、第192回臨時国会が開会しました。今国会は主として、アベノミクスを加速させるための経済対策としての平成28年度第2次補正予算とTPP関連法案の早期成立を目指すこととなりますが（前者は10月11日に成立）、その他にも国政課題が山積しています。

開会日には国会議事堂前において同期当選議員で集合し、心機一転、切磋琢磨しながら頑張っていくことを誓い合いました。

私も初心を忘れることなく、「明日の鹿児島を、日本の未来を切り拓く」との想いで、引き続き頑張ってまいります！



(9月26日 国会議事堂前)